

馬伏塚城、岡崎城に

歴史的顕彰表示を

問 戦国時代、徳川家康と武田勝頼との駿河・遠江攻防戦の前線となつた両城に、曲輪や堀の案内等の表示施設を増設すべきでは。

答 馬伏塚城の北の曲輪群や岡崎城に、文化財説明板の設置を住民や地権者の皆さまの理解を得て検討していきたい。

浅羽海岸北の松枯れ対策を

問 グリーンウエーブ作戦により市民が植樹した松に、大野・東同笠地区で松枯れが顕著であり、伐採や松以外の植樹を含む対策を。

答 補正予算で約1500本の松の緊急伐採をする。松以外の植樹は、森林林業研究センターや地元の皆さまと協議し事業を進めていきたい。

通学路の安全確保を

問 コミュニティスクールの実際の活動には各校に取り組みの差異があり、比較的取り組みやすい通学路の安全確保について組織的運営を進めようか。

答 コミュニティスクールの制度がスタートし、全ての小中学校で年3回学校運営協議会が開かれているが、今後、組織の充実を図っていきたい。



岡崎城址(笠原地区)

愛野地区児童通学の改善を

問 市の副次核である愛野駅周辺の上石野・下石野・祢宜弥地区児童約200名が、JR電車や路線バスで通学している。異常ではないか。

答 今年度は、バス通学が135名、JR電車通学が57名である。この地域は、以前から公共交通機関を利用した通学地区であり、学校、PTA、保護者のアンケート調査や協議により、現在の通学方法となっている。地域の理解を得た通学方法と認識している。

問 路線バス通学は、降車場所・時刻・交通安全など問題が多い。校外活動にも活用できるスクールバスを導入してはどうか。

答 現在の市の通学方針を見直す状況が発生した場合には、スクールバスの導入も検討していきたい。

複数区画に一つの墳墓が

問 二つの区画を統一的に利用し、一つの墳墓の建立があった。「区画が同一」は公営墓地の特徴ではないか。

答 6月の条例改正で複数区画が購入できるようになり、複数区画にまたがる大きな墓石を設置できるようにした。複数区画の一体的な使用を認めることで、購入者へのサービス向上と販売促進につながると考える。



登校時の大門バス停